

平成 26 年度市民公開講座

放射線技師のためのリスクコミュニケーション研修と

「放射線・放射能を正しく理解するための市民公開講座」開催報告

担当理事 遊佐 烈

2011 年より続く「放射線・放射能を正しく理解するための公開講座」を開催するにあたり、公益社団法人福島県診療放射線技師会の会員並びに近県の放射線技師を対象に「放射線技師のためのリスクコミュニケーション研修」を実施、午後からは公益社団法人日本放射線技術学会(東北部会・放射線防護分科会)が「放射線・放射能を正しく理解するための市民公開講座」を後援し、放射線測定機器展示・相談コーナーでは、福島県の放射線技師が相談員として市民の方々に対応いたしました。

講演は住民の皆様が特に心配している“食について”と原発廃炉後も長期間続く“低線量長期被ばくについて”を主テーマとし、講演後に参加した市民からの質問にも答えて頂く企画と致しました。

日 時：平成 26 年 7 月 12 日(土) 9:30～17:00

場 所：コラッセふくしま 4 階 401 及び 402 AB 会議室

参加人数：放射線技師のためのリスクコミュニケーション 42 名

放射線測定機器展示及び相談コーナー 21 名(一般市民)

市民公開講座 54 名(学会員参加も含む)

主 催：「放射線技師のためのリスクコミュニケーション」

公益社団法人日本放射線技術学会(東北部会・放射線防護分科会)

「放射線・放射能を正しく理解するための市民公開講座」・放射線測定機器展示・相談コーナー

公益社団法人福島県診療放射線技師会

後 援：福島県・福島市・伊達市・社団法人福島県医師会

1. 放射線技師のためのリスクコミュニケーション

座長 公立大学法人福島県立医科大学附属病院 遊佐 烈

講 師：総合病院国保旭中央病院放射線科 五十嵐 隆元 先生

セントメディカル・アソシエイツ LCC 広藤 喜章 先生

2. 市民公開講座

座長 公立大学法人福島県立医科大学附属病院 遊佐

烈

① 「食品の放射性セシウム(料理を食べてから出て行くまで)」

放射線医学総合研究所放射線防護研究センター廃棄物技術開発研究チーム

田上恵子先生

② 「低線量被ばくの健康影響について」

放射線医学総合研究所放射線防護研究センター発達期被ばく影響研究プログラム

島田義也先生

開催にご協力頂きました講師の先生、準備、広報、設営、相談コーナーを担当してくれたスタッフ全員の皆さんに感謝申し上げます。福島県診療放射線技師会では環境放射線量測定を希望される市民の皆様には無料で福島県診療放射線技師会会員がご自宅を訪問し測定する事と致しており、7月末に実際に測定を希望されたご家族がありましたので実施いたしております。